

## 職員による自己評価

## A環境面

狭いと感じる時も見受けられるが、スペースを活用して、最大限に活用している。

壁紙が剥がれて汚い。

## B適切な支援の提供

月間プログラムの立案は、児童が楽しんで貰える内容を企画。平日は児童の来所時間にばらつきがある為共通の遊びの提供が出来ていない。

## C関係機関との連携

障害のない児童との活動交流は実施していない。

## D保護者への説明責任・信頼関係

支援の内容について問合せ等があった場合、管理者から説明及び相談を行い、解決に繋ぐ。活動内容を事業所のブログで公表している。

## E非常対応

年1回の計画だが災害を想定し、児童全員が避難訓練に参加できる様に実施している。

## 保護者による評価

## A環境面

子供の活動スペースが狭いと感じる。

5年も使用していると古さが目立つ。

## B

活動プログラムが増えている。

## C事業所からの情報発信

事業所の活動内容がブログで拝見できる。

個人情報も守って貰えている。

## D非常時等の対応

事前に情報を貰い、送迎時やブログで実施報告を受ける。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

児童も成長して狭く感じているが、活動スペースを区切り職員が目が届く配置を行い危険がないような配慮を行っている。

教室内の壁が剥がれて汚さや古さが目立つ。

## 【相違点】

家具等の配置換えをして広いスペースを確保していく。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

送迎時でも活動内容をお伝えしているが、より様子を拝見して頂く為にブログでの報告をおこなっている。  
小学生や中学生が参加しやすい活動内容を週末中心に企画しています。

### 事業所の改善点

児童の成長と共に、事業所内のレイアウトを検討する。  
玩具も新しい物を少しずつ購入して児童が楽しめる様に提供していく。

### 事業所の改善への取り組み

クッションマットの交換。  
現在使用している家具（靴箱）の検討。  
親子で参加できるイベント企画や保護者様と共有できる保護者会を検討。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所名 ライズ児童デイサービス蒔田

担当者 五十嵐 好子